



ボッシュ株式会社 電動工具事業部

ホームページ: <http://www.bosch.co.jp>
〒150-8360 東京都渋谷区渋谷 3-6-7

コールセンターフリーコール

0120-345-762

(土・日・祝日を除く、午前9:00~午後5:30)

* 携帯電話からお掛けのお客様は、TEL. 03-5485-6161
をご利用ください。コールセンターフリーコールのご利用
はできませんのでご了承ください。



1 609 92A 7DX (2021.12)

GHG 23-66



取扱説明書

このたびは、弊社ホットエアガンをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。
ご使用になる前に、この『取扱説明書』をよくお読みになり、正しくお
使いください。

- お読みになった後は、この『取扱説明書』を大切に保管してください。
わからないことが起きたときは、必ず読み返してください。



- 本取扱説明書に記載されている、日本仕様の能力・型番などは、外国語の印刷物とは異なる場合があります。
- 本製品は改良のため、予告なく仕様等を変更する場合があります。
- 製品のカタログ請求、その他ご不明な点がございましたら、お買い求めになった販売店または弊社までお問い合わせください。

目次

●安全規則.....	2
警告表示の区分	2
一般安全規則.....	2
ホットエアガンに関する安全規則.....	6
記号について	7
●安全上のご注意.....	8
コード式電動工具全般についての注意事項.....	8
ホットエアガンについての注意事項.....	12
●本製品について.....	14
用途.....	14
各部の名称.....	15
標準付属品.....	16
仕様.....	16
●使い方.....	17
作業前の準備をする.....	17
作業する	18
アクセサリを使う(別売品を含む)	29
●お手入れと保管.....	34
クリーニング.....	34
保管.....	34
電動工具の廃棄について.....	35
●困ったときは.....	36
故障かな?と思ったら.....	36
修理を依頼するときは.....	37

安
全

本
製
品
に
つ
い
て

使
い
方

お
手
入
れ
と
保
管

困
っ
た
と
き
は

安全規則

安

全

警告表示の区分

ご使用上の注意事項は 、、 に区分していますが、それぞれ次の意味を表わします。

- 危険** ◆ 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が大きい内容のご注意。
- 警告** ◆ 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。
- 注意** ◆ 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

一般安全規則

警告

取扱説明書の内容すべてをよくお読みください。

下記に記載した指示に従わなかった場合は、感電、火災、重傷を招く恐れがあります。

下記に記載したすべての警告における“電動工具”という用語は、電源式(コード付き)電動工具または、電池式(コードレス)電動工具を示します。

次の事項を順守してください。

a) 作業場

- 1) 作業場は整理整頓し、十分な照明を保ってください。散らかった暗い場所は、事故の原因になります。
- 2) 爆発を引き起こす恐れのある可燃性液体、ガスまたは粉じんがある場所では、電動工具を使用しないでください。
電動工具は、粉じんまたはヒュームを発火させる恐れがある火花を発生する場合があります。
- 3) 電動工具の使用中は、子供および第三者を近づけないでください。注意が散漫になり、操作に集中できなくなることがあります。

安

全

b) 電気的安全性

- 1) 電動工具の電源プラグは、電源コンセントに合ったものを使用してください。電源プラグの改造は、絶対に行わないでください。アダプタプラグを接地した電動工具と一緒に使用しないでください。
改造していない電源プラグおよびそれに対応するコンセントを使用すれば、感電する危険が低減されます。
- 2) パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫など、接地処理された媒体と身体が接触するのを避けてください。
身体が接触すると、感電する危険が増大します。
屋外で使用する際には、3)～5)の注意が必要です。
- 3) 電動工具、バッテリーは、雨ざらしにしたり、湿気のある状態にさらしたりしないでください。水が入ると、感電する危険が増大します。
◆ バッテリーが発煙、発火、破裂する恐れがあります。
- 4) 電源コードは乱暴に扱わないでください。コードを使って電動工具を運んだり、コードを引っ張ったり、コードを引っ張って電源コンセントから抜いたりしないでください。また、コードを熱、油、角の上がった場所、また可動部に近づけないでください。コードが損傷したりもつれたりしていると、感電する危険が増大します。
◆ コードが踏まれたり、引っかけられたり、無理な力を受けて損傷することがないように充電する場所に注意してください。
◆ コードは定期的に点検し、損傷している場合は、修理を依頼してください。お買い求めの販売店、またはボツシュ電動工具サービスセンターにご相談ください。
- 5) 電動工具を屋外で使用するときは、屋外使用に合った延長コードを使用してください。屋外使用に合った延長コードを使用すれば、感電する危険が低減されます。
◆ 屋外で使用する場合、キャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。



c) 人的安全性

- 1) 電動工具の使用中は、油断せず、いま自分が何をしているかに注意し、常識を働かせてください。疲労していたり、薬・アルコールを服用していたりするときには、電動工具を使用しないでください。電動工具使用中に一瞬でも注意力が低下すると、重大なけがをする危険があります。
 - ◆ 電動工具を使用する場合は、取り扱い方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- 2) 安全保護具を着用してください。常に保護めがねを着用してください。防じんマスク、滑り止め付き安全靴、ヘルメット、耳栓などの安全保護具を適切に着用することで、傷害事故が低減されます。
 - ◆ 騒音の大きい作業では、耳栓、耳覆い(イヤマフ)などの防音保護具を着用してください。騒音にさらされると、難聴の原因となります。
- 3) 意図せず作動開始しないよう、気をつけてください。電源プラグを電源コンセントに差し込む前に、必ずスイッチが“切”になっていることを確認してください。指をスイッチに掛けて電動工具を運んだり、スイッチが“入”になっている状態で電動工具の電源プラグを電源コンセントに差し込むと、事故の原因になります。
 - ◆ 回転している先端工具が思いがけず身体に当たると、衣服に引っ掛かり、身体が引き込まれる恐れがあります。
- 4) 電動工具の電源を入れる前に、調節キーやレンチなどは、必ず取り外してください。電動工具の回転部に調節キーやレンチを付けたままにしておくと、人的傷害の原因になります。
- 5) 無理な姿勢で作業をしないでください。常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。これにより、予期せぬ状況でも電動工具をより適切に操作することができます。
- 6) きちんとした服装で作業してください。だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は着用しないでください。髪、衣服、手袋を、電動工具の回転部に近づけないでください。だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具、長髪は、回転部に巻き込まれる恐れがあります。
 - ◆ 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。
 - ◆ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
- 7) 集じん装置が接続できるものは、適切に使用されていることを確認してください。集じん機などを使用することで、粉じんに関する危険を低減することができます。
 - ◆ 作業中に発生する粉じんは、健康を害します。

d) 電動工具の使用および手入れ

- 1) 電動工具を、無理に使用しないでください。目的に合った電動工具を使用してください。より適切、安全に作業ができます。
 - ◆ 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。
 - ◆ モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。
 - ◆ 小型の電動工具やアタッチメントは、大型の電動工具で行う作業には使用しないでください。
 - ◆ 指定された用途以外に使用しないでください。
- 2) スイッチで始動、および停止操作のできない電動工具は、使用しないでください。スイッチで制御できない電動工具は危険です。修理を依頼してください。
- 3) 調整・付属品の交換・保管をするときは、必ず電動工具の電源プラグを電源コンセントから抜くか、電動工具本体からバッテリーを取り外してください。このような予防的安全手段により、不意の作動によるけがの発生が軽減されます。
- 4) 電動工具を使用しないときは、子供の手の届かない場所に保管してください。また、電動工具の取り扱いに不慣れな人や取扱説明書の内容を理解していない人には操作させないでください。電動工具を扱っていない人に渡すと、危険です。
 - ◆ この機械で遊ぶことがないように、子供を監視することが望ましい。
 - ◆ 鍵のかかる所に保管してください。
- 5) 電動工具の保守を行ってください。電動工具の動きに影響を及ぼす恐れのある可動部分の心ずれや結合、各 부품の損傷やその他の状態をチェックしてください。異常があった場合は使用せず、修理をご依頼ください。多くの事故は、点検作業を怠ったことが原因となっています。
- 6) 先端工具は鋭利で清潔な状態を保ってください。先端工具を適切に手入れし、鋭利な状態を保っておけば、作業の円滑さを失うことなく、能率よく作業できます。
- 7) 電動工具、付属品、アタッチメント、先端工具などは、作業条件および作業内容を考慮して、それらの取扱説明書に従って、使う電動工具に合うように使用してください。
電動工具を意図した作業と異なる作業に使用すると、危険な状況になることがあります。
 - ◆ 指定されたアクセサリ以外は、取り付けられたとしても安全に作業できない恐れがあります。
- 8) 電動工具は、25℃での使用を前提としていますが、時折、35℃になることも想定しています。

安

全



e) 整備

電動工具の整備は、資格をもつ修理要員が純正の交換部品だけを用いて行ってください。これにより、電動工具の安全性を維持することができます。

- ◆ サービスマン以外の方は電動工具、充電器、バッテリーを分解したり、修理・改造は行わないでください。
- ◆ 電動工具が熱くなったり、異常に気付いたときは、点検・修理に出してください。
- ◆ この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- ◆ 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因になります。
- ◆ 損傷したり、改造した電動工具やバッテリーを使用すると、予想外の動きをして、電動工具をコントロールできなくなります。

f) その他

- 1) この機器は、安全に責任を負う人の監視または指示がない限り、補助を必要とする人(子供を含む)が単独で使用しないでください。
 - ◆ この機器で遊ぶことがないように、子供を監視することが望ましい。
- 2) 製品本体および本取扱説明書に使用されている記号の意味については、「記号について」を参照してください。

ホットエアガンに関する安全規則

警告

● 次の注意事項を怠って機器を用いた場合、火災が発生する恐れがあります。

- 可燃材がある場所で機器を用いる場合には、注意する。
- 長時間、同じところに当てない。
- 爆発性の雰囲気がある場所では用いない。
- 熱が、見えないところにある可燃性材料に伝わる恐れがあることを認識する。
- 使用後は機器をスタンドに置いて、収納する前に冷却する。
- スイッチを入れている間は、機器を無人にしない。

記号について

本機には下記の記号が表示されています。
記号の意味を十分理解して本機を使用してください。

安
全

～	交流
	クラスⅡ電動工具
	電気用品安全法における特定以外の電気用品の基準適合表示
	けがのリスクを軽減するために取扱説明書をお読みください
	ご使用前に取扱説明書を必ずよくお読みください
	ビニール袋は窒息の危険があります この袋は赤ちゃんや子どもから遠ざけてください
	リサイクル識別表示マーク(紙製容器包装)
	リサイクル識別表示マーク(プラスチック製容器包装)

安全上のご注意

安
全

- ◆ 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐため、次に述べる『安全上のご注意』を必ず守ってください。
- ◆ ご使用前に、この『安全上のご注意』すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
- ◆ お読みになった後は、ご使用になる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- ◆ 他の人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

コード式電動工具全般についての注意事項

ここでは、コード式電動工具全般の『安全上のご注意』について説明します。

警 告

- **感電に注意してください。**
 - ◆ めれた手で電源プラグに触れないでください。
- **加工するものをしっかりと固定してください。**
 - ◆ 加工するものを固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。
- **異常や故障時には、直ちに使用を中止し、すぐに電源プラグを電源コンセントから抜いてお買い求めの販売店、またはボッシュ電動工具サービスセンターに、点検、修理を依頼してください。そのまま、使用すると発煙・発火、感電、けがに至る恐れがあります。**
 - <異常・故障例>
 - ・電源コードや電源プラグが異常に熱い。
 - ・電源コードに深いキズや変形がある。
 - ・コードを動かすと、通電したりしなかったりする。
 - ・焦げくさい臭いがする。
 - ・ビリビリと電気を感じる。
 - ・スイッチを入れても動かない。 など

● **必ず、銘板に表示してある電圧の電源で使用してください。**

◆ 表示以外の電圧で使用すると、事故の原因になります。

● **やむを得ず、湿気の多い場所で使用する場合は、漏電遮断器(RCD)を設置して給電してください。**

◆ 漏電遮断器の設置で、感電する危険が低減されます。

● **つなぎコードは、アース中断線を備えた3芯コードを使用してください。(二重絶縁品、低電圧品は除く)**

● **必ずアース(接地)してください。(二重絶縁品、低電圧品は除く)**

● **アース線をガス管に接続しないでください。(二重絶縁品、低電圧品は除く)**

● **作業中は電源コードが損傷したりもつれたりしないよう注意し、常に本体の後方に離してご使用ください。**

◆ コードが損傷したりもつれたりすると、感電や故障の原因になります。

● **作業領域に電線管や水道管、ガス管などが埋設されていないか、適切な探知器で十分確認するか、公益事業者へ連絡をして、助言を求めてください。**

◆ 埋設物があると、先端工具が触れたとき事故の原因になります。
電気配線との接触は、発火や感電につながる恐れがあります。
ガス配管の損傷は、爆発につながる恐れがあります。
水配管の貫通は、器物破損の原因になります。

● **先端工具が埋設された配線などに接触する恐れがある場合、電動工具本体の絶縁された握り部を持って作業を行ってください。**

◆ 絶縁部分を持っていないと、先端工具が通電している配線に接触して、電動工具本体の金属部に通電した場合、作業者が感電する恐れがあります。
絶縁部分で保持していると、感電する危険が小さくなります。

● **誤って落としたり、ぶついたりしたときは、電動工具本体や先端工具、付属品などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。**

◆ 破損や亀裂、変形があると、事故の原因になります。

安

全

安

全

- 鉛コーティングしてある作業材料やある種の木材、鉱物や金属への作業から出るホコリやクズなどによっては、健康に悪影響を与えたり、アレルギー反応を引き起こしたりするものがあり、呼吸器の感染症やガンなどの原因となる可能性があります。

- ◆ アスベストを含む材料への作業は、専門知識のある方にのみ許されています。
 - できる限り、材料に合った集じん装置を使用してください。
 - 作業場所の換気に注意してください。
 - DS2クラス以上のフィルター付防じんマスクの着用をお勧めします。作業を行う材料に関して、自国の関連規則を遵守してください。

- 作業場で粉じんの堆積は避けてください。

- ◆ 容易に発火する恐れがあります。

- 定期的に電動工具の通気口を清掃してください。

- ◆ 通気口にほこりなどが蓄積されると、故障や事故の原因になります。

- 電動工具を火のそばや、高温の場所に置かないでください。

- ◆ 爆発の恐れがあります。

- 握り部は乾燥させ、油やグリースが付着していない状態を保ってください。

- ◆ 握り部が滑りやすいと、電動工具本体を確実にコントロールすることができず、けがや事故の原因になります。

- 作業者以外、電動工具やコードに触れさせないでください。

- 安全上のご注意は、必ず守ってください。

- ◆ 電動工具の取り扱いに慣れると、安全の注意事項厳守を怠りがちです。電動工具操作中に、一瞬でも注意力が低下すると、重大なけがをする危険があります。

 **注 意**

- **先端工具や付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。**
 - ◆ 確実にしないと外れたりし、けがの原因になります。
- **高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめてください。**
 - ◆ 材料や電動工具本体などを落としたときなど、事故の原因になります。
- **破損した保護カバー、その他の部品交換や修理については、お買い求めの販売店、またはボッシュ電動工具サービスセンターにお問い合わせください。**

この取扱説明書は、大切に保管してください。

安

全

ホットエアガンについての注意事項

安
全

コード式電動工具全般の『安全上のご注意』について、前項では説明しました。
ここでは、ホットエアガンをお使いになるうえで、さらに守っていただきたい注意事項について説明します。

警告

- 使用するときは、保護手袋を着用し、高温のノズルには触れないでください。
 - ◆ 保護手袋を着用しないで使用したり、高温のノズルに触れると、やけどを負う恐れがあります。

- ヘアドライヤーとしては絶対に使用しないでください。
 - ◆ やけどの原因になります。

- 人や動物に直接熱風を当てないでください。
 - ◆ 事故ややけどの原因になります。

- 熱風を同じ場所に長時間当てることは、絶対にしないでください。また、作業場の換気を良くしてください。
 - ◆ 塗料をはがしたり、プラスチックを加工したりする場合、有毒ガスが発生することがあります。使用中に発生するガスや蒸気は、健康に有害です。
 - ◆ 熱風が直接当たらなくても、隠れた材料に熱が伝わって発火する恐れがあります。

- ノズルと材料の距離は、作業している材料(金属、プラスチックなど)と目的の作業方法によって異なります。作業する前に試し加工などをし、風量と温度を設定してください。

- 異物がホットエアガンの中に入らないようにしてください。
 - ◆ 事故や故障の原因になります。

 **注 意**

- **作業中や作業直後の熱風放出ノズルや材料は、大変熱くなっていますので、触れないでください。**
 - ◆ やけどの原因になります。
- **作業後、ホットエアガン本体を置くときは、立て置き接地面を下にしてまっすぐに立ててください。**
 - ◆ ノズルが熱くなっているため、事故の原因になります。
- **使用するときには、絶対に熱風をさえぎらないでください。**
 - ◆ 本体加熱による、事故の原因になります。
- **先端ノズルの交換は、熱風放出ノズルや先端ノズルが冷えてから行ってください。**
 - ◆ やけどの原因になります。

安

全

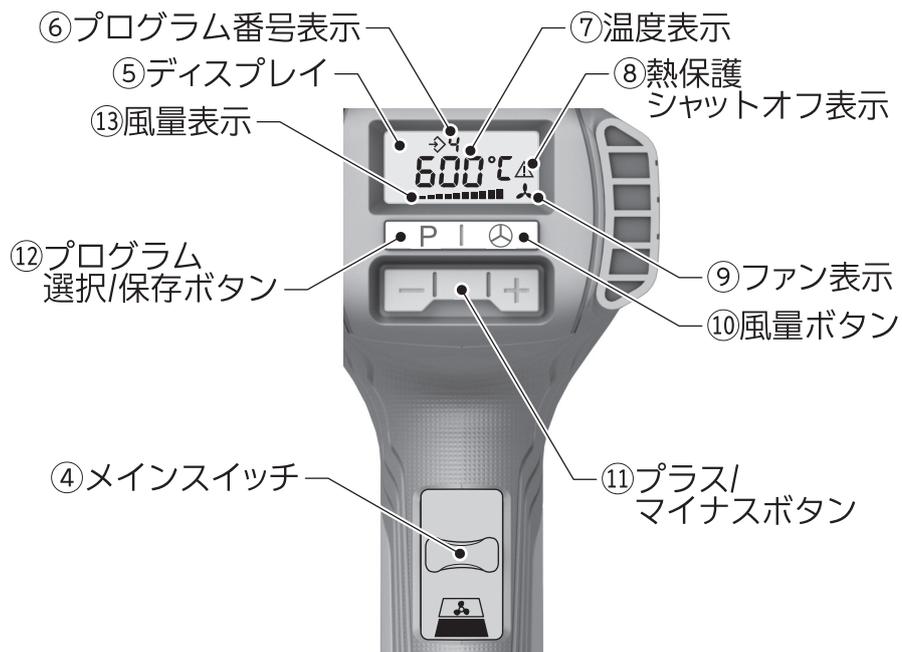
本製品について

用途

本
製
品
に
つ
い
て

- ◆ 各種コーキング剤や接着剤のはく離や溶解整形
- ◆ 樹脂系塗料のはく離や熱硬化性塗料の仕上げ、部分補修
- ◆ カーペット、ビニール、ステッカーのはく離
- ◆ 成形加工モールド時の気泡除去
- ◆ あらゆる樹脂板の曲げ加工、変形、伸ばし、ひねり加工
- ◆ 塩ビパイプなどの膨張接続、変形、接着剤はく離、補修
- ◆ 金属薄板や管継手のはんだ溶接補修
- ◆ 凍結した水道管の解氷、その他霜取り
- ◆ 熱収縮性電気絶縁材の接続部密着
- ◆ 湿った材料の乾燥、木材表面の焼き焦がし加工
- ◆ 木材等の表面のワックス塗りを均等に行う
- ◆ 木材のヤニ取り
- ◆ 自動車の塗装下地の熱硬化 (熱硬化性パテなど)
- ◆ 修理時のギア、ベアリングの抜き取り分解作業
- ◆ 自動車のアンダーコートのはく離
- ◆ 冷凍食品の解凍、滅菌消毒
- ◆ ホットメルト系接着剤のはく離

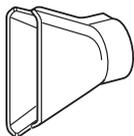
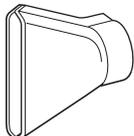
各部の名称



◆イラストの形状・詳細は、実物と異なる場合があります。

つ
本
製
品
に
て

標準付属品

モデル名	GHG 23-66
型番	GHG 23-66
 先端ノズル PHG-N3 型番:1 609 390 452	1個
 先端ノズル 型番:1 609 201 795	1個

◆イラストの形状・詳細は、実物と異なる場合があります。

仕様

モデル名	GHG 23-66
型番	GHG 23-66
定格電圧	A.C.100V、50-60Hz
消費電力(入力)	1,300W
風量	100～350L/分(0.1～0.35m ³ /分)
温度*1	50～600℃(調整可能)
温度測定精度 ノズル出口 ディスプレイ	±10% ±5%
ディスプレイ作動温度*2	0～+50℃
質量(アクセサリ除く)*3	0.67kg
感電保護クラス	回/II
原産国	ルーマニア

*1 作業場周囲の温度が約20℃のとき。

*2 作動温度範囲外では、ディスプレイ⑤は黒くなります。

*3 EPTAプロシージャー01/2014に準拠

使い方

作業前の準備をする

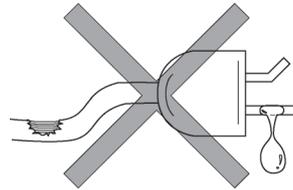


警告

◆ 電源コードや電源プラグが損傷しているときは、直ちに使用を中止してください。お買い求めの販売店またはボッシュ電動工具サービスセンターに修理を依頼してください。

● 使用電源を点検する

- 単相A.C.100V、50-60Hzか？
- 電源コンセント不良(ガタ)のため、電源プラグが簡単に抜けないか？
- 電源コードが断線したり、電源プラグが破損したりしていないか？



使
い
方

作業する

作業を始める前に、「作業する」(18ページから28ページ)をお読みになり、作業の流れを理解してください。

本製品は電源を入れると、熱風放出ノズル①から熱風が吹き出ます。

作業の流れを理解してから作業すると、けがや事故の危険が低減されます。



警告

- ◆ 必ず、銘板に表示してある電圧の電源で使用してください。
- ◆ 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、「メインスイッチ④」が“切(0)”になっていることを確認してから、電源プラグを電源コンセントに差し込んでください。
- ◆ 作業するときは、常に換気をしてください。材料によっては、有毒ガスを発生することがあります。
- ◆ プログラム番号を選択したり、温度や風量を調節したりするときは、熱風が人や動物、周りの物に当たらないよう、熱風放出ノズル①の向きに注意してください。
- ◆ 熱風を同じ場所に長時間当てないでください。
- ◆ ノズルと材料の距離は、作業している材料(金属、プラスチックなど)と目的の作業方法によって異なります。作業する前に試し加工などをして設定してください。

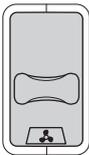


注意

- ◆ 作業中、材料とノズルを近づけすぎないでください。電動工具本体が過熱する恐れがあります。

 本機は、金属の表面を腐食から保護するため、表面をコーティングしてあります。熱を加えるとコーティングが蒸発するため、使い始めに煙が発生することがあります。

● メインスイッチの操作

- “0”  電源“切”
- “1”  温度:50℃(固定)
風量:100~200L/分(調節可)
- “2”  温度:50℃~600℃(調節可)
風量:100~350L/分(調節可)

使
い
方

● 「メインスイッチ④」を“1”にして作業する

「メインスイッチ④」“1”は、加熱された材料の冷却や塗料の乾燥に適しています。

また、電動工具本体やノズルの冷却にも適しています。

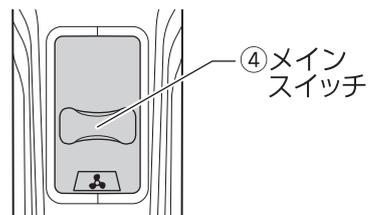
「メインスイッチ④」を“1”にしたときは、風量のみ調節できます。

☞ 温度の変更はできません。

“1”では、温度が50℃に固定されています。

1. 電源プラグを電源コンセントに差し込みます。

2. 「メインスイッチ④」を“1”の位置にします。
熱風放出ノズル①から熱風が吹き出ます。



3. 風量を調節する場合は、「風量ボタン⑩」を押した後、「プラス/マイナスボタン⑪」で風量を調節します。風量は10段階で調節できます。ボタンの“+”側を押すと風量が多くなり、“-”側を押すと風量が少なくなります。「プラス/マイナスボタン⑪」で調節している間、風量表示⑬の目盛が減ったり、増えたりします。風量を調節している間、ファン表示⑨が点滅します。「プラス/マイナスボタン⑪」を押し終え、風量が安定するとファン表示⑨が連続点灯になります。



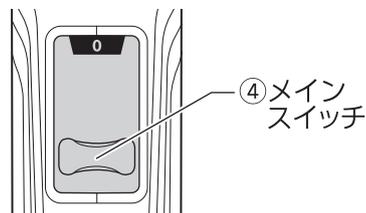
4. 作業を始めます。



警告

- ◆ 熱風を同じ場所に長時間当てないでください。
- ◆ ノズルと材料の距離は、作業している材料(金属、プラスチックなど)と目的の作業方法によって異なります。作業する前に試し加工をしてください。

5. 作業を終わらせます。
「メインスイッチ④」を“0”の位置にします。



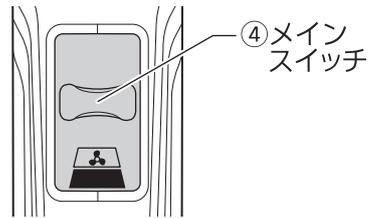
- ☞ 作業終了後の熱風放出ノズル①は大変熱くなっていますので、触らないでください。

● プログラムを使用して作業する

- ☞ プログラム番号1～4は工場出荷時に設定されていますが、任意の温度および風量に設定し直すことができます。
温度と風量の設定はいつでも変更できます。
(22ページ「プログラムの設定を変更する」参照)

1. 電源プラグを電源コンセントに差し込みます。

2. 「メインスイッチ④」を“2”の位置にします。
熱風放出ノズル①から熱風が吹き出ます。



3. プログラム番号表示⑥に選択したいプログラムの番号が表示されるまで「プログラム選択/保存ボタン⑫」を繰り返し押しします。

表示なし → 1 → 2 → 3 → 4

使
い
方



4. 選択したプログラム番号に設定されている温度と風量になったことを、ディスプレイ⑤で確認します。

- ☞ 温度表示⑦には現在の温度が表示され、設定温度に向けて温度が高くまたは低くなっている間、“C”の表示は点滅します。設定温度に達すると“C”の表示が連続点灯になります。
- ☞ 外気温などの影響により、選択したプログラム番号に設定された温度になるまで1分ほどかかることがあります。

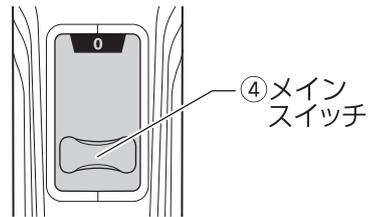


5. 作業を始めます。



- ◆ 熱風を同じ場所に長時間当てないでください。
- ◆ ノズルと材料の距離は、作業している材料(金属、プラスチックなど)と目的の作業方法によって異なります。作業する前に試し加工をしてください。

6. 作業を終わらせます。
[メインスイッチ④]を“0”の位置にします。



使
い
方

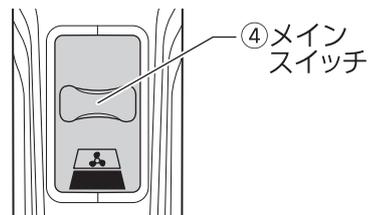
- ☞ 高温で長時間作業したときは、電源を切る前に、「メインスイッチ④」を“1”にして、電動工具本体を冷やしてください。
- ☞ 作業終了後の熱風放出ノズル①は大変熱くなっていますので、触らないでください。

プログラムの設定を変更する

プログラム番号1～4は、任意の温度および風量に設定できます。
温度と風量の設定はいつでも変更できます。

1. 電源プラグを電源コンセントに差し込みます。

2. [メインスイッチ④]を“2”の位置にします。
熱風放出ノズル①から熱風が吹き出ます。



3. プログラム番号表示⑥に設定を変更したいプログラムの番号が表示されるまで、「プログラム選択/保存ボタン⑫」を繰り返し押します。

表示なし → 1 → 2 → 3 → 4



4. 登録したい温度が「温度表示⑦」に表示されるまで「プラス/マイナスボタン⑪」を押します。

「プラス/マイナスボタン⑪」を押して温度を変更し始めると、「C」の表示が点滅します。また、プログラム番号表示⑥の左横に「↔」が点滅表示されます。

温度は、ボタンの“+”側を押すと高くなり、“-”側を押すと低くなります。「プラス/マイナスボタン⑪」は、短く押すと、押す度に温度が10°C高くまたは低くなり、押し続けると、押し続けている間、温度が10°Cずつ高くまたは低くなり続けます。

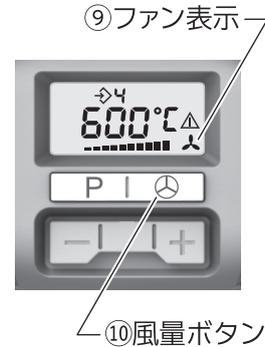
温度表示⑦に登録したい温度が表示され、「プラス/マイナスボタン⑪」を押し終わると、設定した温度が約3秒間表示されたままになります。その後現在の温度が表示され、設定した温度に達すると“C”は連続点灯になります。「↔」は点滅のままです。

☞ 設定した温度が現在の温度より低い場合、設定した温度に下がるまでに時間が掛かります。

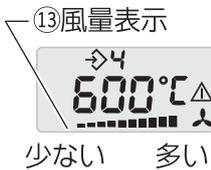


使
い
方

5. 「风量ボタン⑩」を押します。
ファン表示⑨が点滅します。



6. 「プラス/マイナスボタン⑪」を押して、
风量を設定します。
风量は10段階で設定できます。
ボタンの“+”側を押すと风量が多くなり、“-”側を押すと风量が少なくなります。
「プラス/マイナスボタン⑪」で調節している間、风量表示⑬の目盛が減ったり、増えたりします。



「プラス/マイナスボタン⑪」を押し終え、风量が安定するとファン表示⑨は連続点灯になります。

7. 設定が終了したら、プログラム番号表示⑥の左横に点滅表示されている「⇄」記号が連続点灯になるまで「プログラム選択/保存ボタン⑫」を押し続けます。



8. 「⇄」記号が連続点灯になったことを確認し、「プログラム選択/保存ボタン⑫」から指を放します。
「プログラム選択/保存ボタン⑫」から指を放すと、「⇄」記号が消えます。

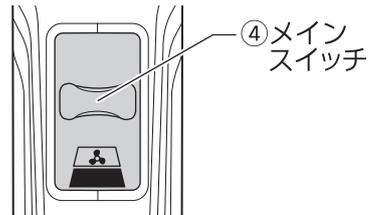
☞ 「プログラム選択/保存ボタン⑫」を押して保存しないと、電源を切ったときや他のプログラム番号を選択したときに、設定が失われます。

● 温度と風量を都度設定して作業する

作業の度に、温度と風量を設定して作業することができます。

1. 電源プラグを電源コンセントに差し込みます。

2. 「メインスイッチ④」を“2”の位置にします。
熱風放出ノズル①から熱風が吹き出ます。



3. プログラム番号表示⑥にプログラムの番号が表示されなくなるまで「プログラム選択/保存ボタン⑫」を繰り返し押します。

👁️ ディスプレイ⑤には最後に都度設定した温度・風量が表示されます。

表示なし → 1 → 2 → 3 → 4

⑫プログラム選択/保存ボタン
⑥プログラム番号表示



使
い
方

4. 「プラス/マイナスボタン⑪」を押して、温度を設定します。
「プラス/マイナスボタン⑪」を押して温度を変更し始めると、“C”の表示が点滅します。

温度は、ボタンの“+”側を押すと高くなり、“-”側を押すと低くなります。
「プラス/マイナスボタン⑪」は短く押すと、押す度に温度が10℃高くまたは低くなり、押し続けると、押し続けている間、温度が10℃ずつ高くまたは低くなり続けます。

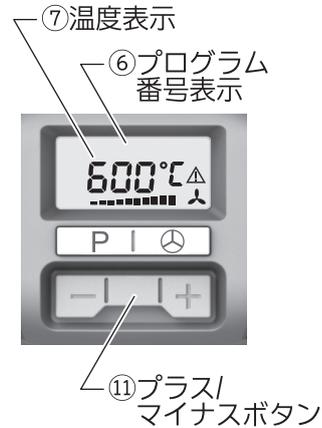
任意の温度に設定し、「プラス/マイナスボタン⑪」を押し終わると、設定した温度が約3秒間表示されたままになります。その後現在の温度が表示され、設定した温度に達するまで“C”の表示は点滅し続け、設定温度に達すると、連続点灯になります。

☞ 設定した温度が現在の温度より低い場合、設定した温度に下がるまでに時間が掛かります。

5. 「風量ボタン⑩」を押します。
ファン表示⑨が点滅します。

6. 「プラス/マイナスボタン⑪」を押して、風量を設定します。
風量は10段階で設定できます。
ボタンの“+”側を押すと風量が多くなり、“-”側を押すと風量が少なくなります。
「プラス/マイナスボタン⑪」で調節している間、風量表示⑬の目盛が減ったり、増えたりします。

「プラス/マイナスボタン⑪」を押し終え、風量が安定するとファン表示⑨は連続点灯になります。



7. 温度表示⑦に表示されている温度が、設定した温度になっていることを確認します。

- ☞ 設定温度に向けて温度が高くまたは低くなっている間“C”の表示は点滅しています。設定した温度に達すると“C”の表示が連続点灯になります。
- ☞ 外気温などの影響により、設定した温度になるまで1分ほどかかることがあります。



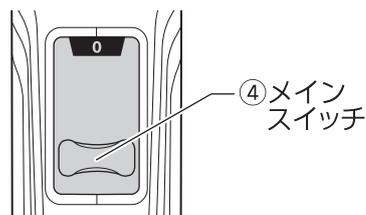
8. 作業を始めます。



- ◆ 熱風を同じ場所に長時間当てないでください。
- ◆ ノズルと材料の距離は、作業している材料(金属、プラスチックなど)と目的の作業方法によって異なります。作業する前に試し加工をしてください。

使
い
方

9. 作業を終わらせます。
「メインスイッチ④」を“0”の位置にします。



- ☞ 高温で長時間作業したときは、電源を切る前に、「メインスイッチ④」を“1”にして、電動工具体を冷やしてください。
- ☞ 作業終了後の熱風放出ノズル①は大変熱くなっていますので、触らないでください。

● 熱遮断カバーを取り外して作業する

特に狭いスペースで作業する場合は、熱遮断カバー②を取り外して使用することができます。



警告

- ◆ 熱遮断カバー②を取り付けたり取り外したりするときは、「メインスイッチ④」を“切(0)”にしてください。
- ◆ 使用直後の熱風放出ノズル①は、たいへん熱くなっています。冷たくなってから取り外してください。
- ◆ 使用中は、熱風放出ノズル①に触れないよう注意してください。熱遮断カバー②を取り外して使用すると、やけどの危険が高まります。

使
い
方

取り外し

熱遮断カバー②を矢印の方向に回して取り外します。

②熱遮断
カバー



取り付け

熱遮断カバー②の突起(2カ所)を電動工具本体の溝に合わせ、矢印の方向に回して取り付けます。

 軽く引いて、確実に取り付けられていることを確認してください。

②熱遮断
カバー



アクセサリーを使う(別売品を含む)



警告

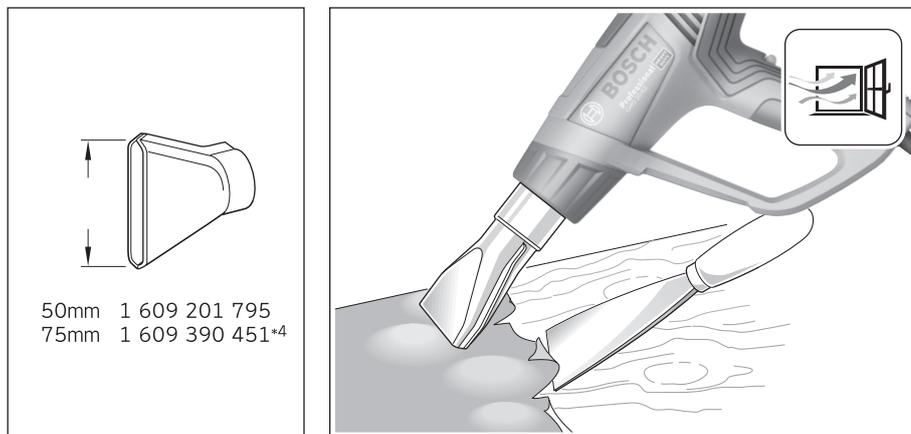
- ◆ 先端ノズルの交換は、熱風放出ノズル①や先端ノズルが冷えてから行ってください。やけどの原因になります。
- ◆ 先端ノズルを交換するときは、保護手袋を着用してください。
- ◆ 先端ノズルを交換するときは、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

- ☞ 温度設定は、材料の特性などにより異なります。最適な温度は、初めにテストをして確かめてください。テストは、低めの温度で、距離を離して始め、必要に応じて温度・風量・距離を調節してください。
- ☞ ノズルと加工する材料の距離は、材質と作業方法により異なります。
- ☞ 作業列Bの「窓枠塗装のはく離」作業は、ガラスが割れる可能性があるため、アクセサリーを使用してください。
Bの作業以外は、別売のアクセサリーなしでも行えます。しかし、別売品アクセサリーを使用すると、作業が簡単になり、仕上がりの品質を高めます。

使
い
方

A 塗装のはく離/接着剤の軟化

先端ノズルを取り付けます。
熱風で塗装を軟らかくし、へらで均一に取り除きます。



*4 別売品アクセサリー

- ☞ あまり長く塗装を温めると、塗装が焼け、かえって取り除きにくくなります。
- ☞ ほとんどの接着剤(ステッカーなど)は、温めると軟らかくなり、接着バンドをはがせるようになったり、余分な接着剤を取り除くことができるようになります。

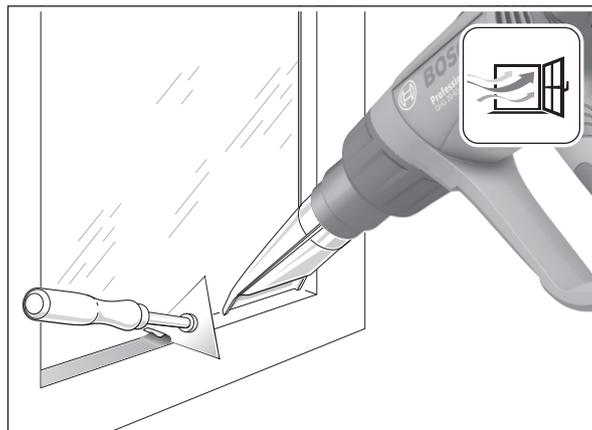
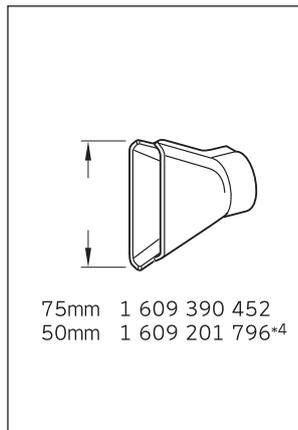
B 窓枠塗装のはく離

 **注意** ◆ ガラスの損壊に注意してください。

先端ノズルを取り付けます。

熱風で塗装を軟らかくし、へらか軟らかいワイヤブラシで取り除きます。

使
い
方



*4 別売品アクセサリ

C 水道管の解冻



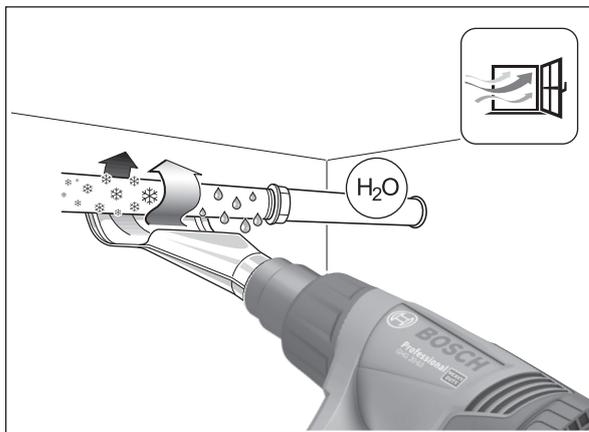
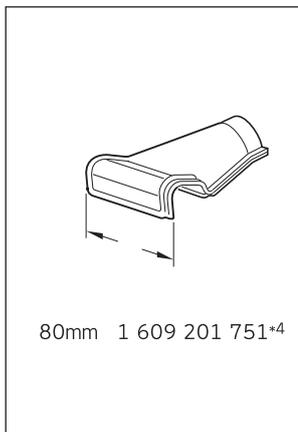
警告

- ◆ 水道管はガス管と同じに見える場合があります。
ガス管は絶対に温めないでください。

先端ノズルを取り付けます。

凍結している部分を端から中央に向けて温めます。

☞ 水道管をつないでいるプラスチック管を損傷しないように、気をつけて温めてください。



使
い
方

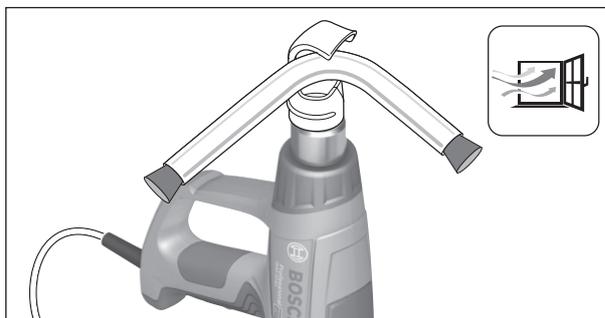
*4 別売品アクセサリー

D プラスチック管の成形

先端ノズルを取り付けます。

プラスチック管が変形しないように、プラスチック管の中に砂を詰め、両端をふさぎます。

端から端まで動かし、均一に温めます。



*4 別売品アクセサリー

E プラスチックの溶接

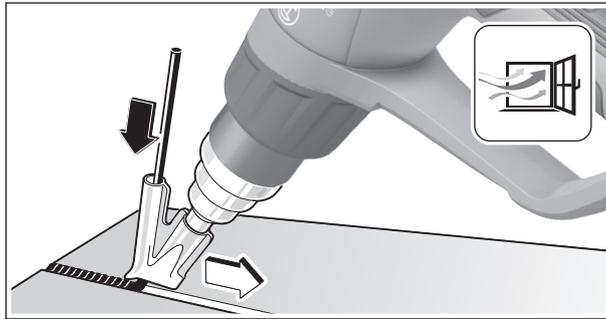
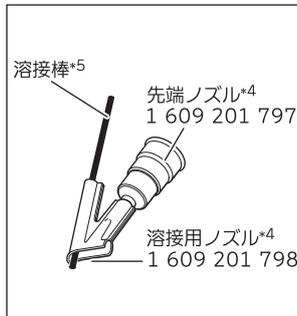
先端ノズルと溶接用ノズルを取り付けます。

- ☞ 溶接する材料と溶接棒は、同じ材質にしてください。
- ☞ 継ぎ目はきれいにし、グリース等の付着がないようにしてください。
- ☞ プラスチックは柔らかくなってから液状になるまでの温度差がとても小さいので注意してください。

継ぎ目が柔らかくなるまで温めます。

継ぎ目が柔らかくなったら、溶接棒を差し込み、均等になるように、継ぎ目の溝に流し込みます。

使
い
方



*4 別売品アクセサリ

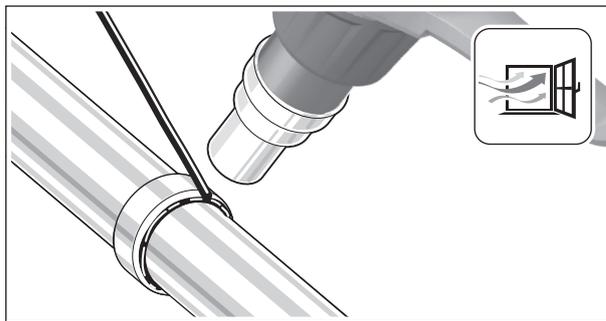
*5 市販品

F はんだ付け

一点のはんだ付けには先端ノズル①を取り付け、パイプのはんだ付けには先端ノズル②を取り付けます。

溶剤付きでないはんだを使うときは、はんだ付けグリスやペーストをはんだ付け個所に塗ります。材料によっては50～120秒間はんだ付け個所を温め、はんだを当てます。

はんだは材料の温度で溶けます。はんだ付け個所が冷めたら溶剤を取り除きます。



使
い
方

*4 別売品アクセサリ

G 熱収縮プラスチック管の収縮

先端ノズルを取り付けます。

材料に適した直径の熱収縮プラスチック管を選び、材料を通します。

熱収縮プラスチック管が材料に密着するまで均等に加熱します。



*4 別売品アクセサリ

お手入れと保管



警告

- ◆ 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いて、お手入れしてください。
- ◆ 電動工具本体を十分に冷ましてから行ってください。



クリーニング

- 通風口やノズルなどのゴミ、ホコリを取り除く
- 乾いた、柔らかい布で電動工具本体の汚れをふき取る

☞ 変色の原因になるベンジンなど、溶剤を使わないでください。



保
お
手
入
れ
と
管

保 管

- 使った後は、きちんと保管する
 - 子供の手が届くところ、または錠が掛からないところに置かない。
 - 風雨にさらされたり、湿度の高いところに置かない。
 - 直射日光が当たったり、車中など高温になるところに置かない。特に、50℃以上になるところに置かない。
 - ガソリンなど、引火性が高いものの近くに置かない。



電動工具の廃棄について

電動工具本体および付属品の廃棄については、各地域自治体にその方法を確認し、正しく廃棄してください。

保
管
お
手
入
れ
と

困ったときは

故障かな?と思ったら

- ① 『取扱説明書』を読み直し、使い方に誤りがないか確かめてください。
- ② 次の代表的な症状が当てはまるかどうか確かめてください。

症 状	原 因	対 処
「メインスイッチ④」を “入”にしても風が吹き出 さない	電源プラグがコンセント に差し込まれていない	電源プラグをコンセント に差し込む
	電源コードが断線している	修理を依頼する
	スイッチが故障している	修理を依頼する
ディスプレイ⑤が表示さ れない	作動温度範囲外である	作動温度範囲内で使用す る
	ディスプレイ⑤が故障し ている	修理を依頼する

修理を依頼するときは

- ◆ 『故障かな?と思ったら』を読んでもご不明な点があるときは、お買い求めの販売店または弊社コールセンターフリーコールまでお尋ねください。
- ◆ 修理を依頼されるときは、お買い求めの販売店またはボッシュ電動工具サービスセンターにご相談ください。
- ◆ この製品は厳重な品質管理体制の下に製造されています。万一、本取扱説明書に書かれたとおり正しくお使いいただいたにもかかわらず、不具合(消耗部品を除きます)が発生した場合は、お買い求めの販売店または、ボッシュ電動工具サービスセンターまでご連絡ください。
弊社で現品を点検・調査のうえ、対処させていただきます。お客様のご使用状況によって、修理費用を申し受ける場合があります。あらかじめご了承ください。

コールセンターフリーコール 0120-345-762

土・日・祝日を除く、午前9:00～午後5:30

※携帯電話からお掛けのお客様は、TEL.03-5485-6161をご利用ください。
コールセンターフリーコールのご利用はできませんのでご了承ください。

ボッシュ株式会社ホームページ <http://www.bosch.co.jp>

ボッシュ電動工具サービスセンター

〒355-0813 埼玉県比企郡滑川町月輪1464番地4
TEL 0493-56-5030 FAX 0493-56-5032

ボッシュ電動工具サービスセンター西日本

〒811-0104 福岡県糟屋郡新宮町の野741-1
TEL 092-963-3486 FAX 092-963-3407

困ったときは

プロ用電動工具・メジャーリングツール
保証サービス『PRO360』のご案内

2022年4月より、弊社ホームページからユーザー登録をしていただいたお客様を対象に、購入日より2年間の保証サービスを実施させていただきます。
保証サービスの詳細および登録に関しては、弊社ホームページまたは下記URLでご確認ください。

<https://www.bosch-professional.jp/jp/ja/service/>

